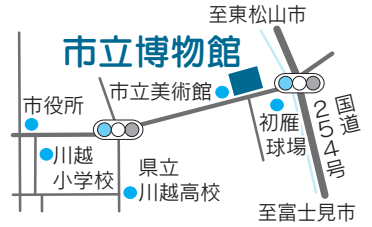


めぐり 施設

市立博物館
TEL 222-5369



瓦屋根にシックい風の白壁で、蔵造りをイメージ
入館料は、一般=200円▶大学生・高校生=100円

同館は平成二年、川越城二の丸跡にオープンしました。常設展示室・特別展示室・図書閲覧室などがあり、近世から近代を中心に、川越の歴史や民俗を紹介しています。

常設展示室に入るとまず、川越の城下町が形成された「近世」のコーナー。ここでは、まちの繁栄ぶりや新河岸川の舟運などを紹介しています。次は、川越大火の様子や蔵造りなどを展示している「近・現代」。続いての「中世」では、川越城を築いた太田道灌の生涯などを、「原始・古代」では古代の生活様式を見ることができまます。「民俗」では、蔵造りの職人技や川越まつり・各地域の祭りを知ることができます。

特別展示室では、企画展や収蔵品展などを開催。現在は、かまどや足踏みミシンなど昔の生活の姿を展示したミニ展を、三月一日(日)まで行っています。三月二十八日(土)からは、川越や各地のたるまを集めた企画展を開催する予定です。

人権教育シリーズ

児童・生徒の作文⑦

教育指導課・TEL 224-6114

平成十九年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

私のひいばあちゃん

中学一年生

それから、ひいばあちゃんはほんとうに少しずつだけれど元気を取り戻していった。お年寄りの集まるデイサービスにも出かけて、毎日楽しそうに過ごしている。

そして、一番うれしいことは、体調の回復とともに、認知症の特徴である物忘れが少しずつ少なくなってきたことだ。あんなにたひいばあちゃんが、私を見ると名前をちゃんと呼んでくれるようになった。私やみんなにとっては当たり前のことの一つ一つがとてもうれしいことに感じた。

しかし、私が中学生になると、部活などで帰りが遅くなり、なかなかひいばあちゃんに会えなくなってしまう。

そして、五月十三日、母の日。ひいばあちゃんが急に入院したことがわかった。急いで病院に行き、いとこと三人で待っていると、お

ばが、「肺炎で入院してるけど落ち着いてきているから大丈夫だよ。」と言った。最近、体調が悪いらしいって知ってはいたけれど、入院と聞くと怖くなってしまった。

その後、二週間かかってひいばあちゃんは無事退院することができた。夜電話してみると、「心配してくれてありがとう。大丈夫だよ。」と優しく言ってくれた。本当にうれしかった。

私はひいばあちゃんからたくさんのお話を教えてもらった。人はみんな生きていく権利があるという。今、私が健康に生きていくことのありがたさ、一生懸命生きる大切さ。ひいばあちゃんが埼玉に来て本当に良かったと思う。

今、八十二歳のひいばあちゃん。これからも元気で明るく、そして一生懸命に長生きしてほしい。

(終わり)

*ふりがなは広報室で付けました。

いざ！ 災害に備えて⑪

防災危機管理課・TEL224-5554

●災害備蓄庫について

市では、市内13か所に災害備蓄庫を設置しています。昭和54年から物資や機材などを備蓄するために、順次整備してきました。主な備蓄品は、次のとおりです。

非常食…乾パン・アルファ米・缶詰・かゆ

生活用品・必需品…懐中電灯・乾電池・下着セット・毛布など

機材…発電機・投光器・排水ポンプ・リヤカー・ハンマー・組み立てトイレなど

これらは災害が発生した際、支援活動や復旧活動に使用されます。市民の皆さんの家庭でも、3日分程度を目安に非常食や生活用品などの備蓄をお願いします。



宮下町1丁目に設置されている宮下災害備蓄庫

糖尿病を予防するために

総合保健センター成人保健担当・TEL229-4124

近年、糖尿病の患者数が急激に増えていることをご存じですか？

平成十九年の厚生労働省の国民健康・栄養調査では、「糖尿病が強く疑われる人」と、「糖尿病の可能性が否定できない人」を合わせると、全国に約二千二百十万人いると推計されています。

糖尿病の九割以上は、食事や運動などの、生活習慣が関係している二型糖尿病です。そのため、糖

尿病を予防するには、生活習慣の改善が大切です。

食事では、自分の適正な摂取エネルギー量を知り、その範囲で食事を取ることがポイントです。また、一日三食規則正しく食べ、栄養のバランスにも注意する必要があります。

運動では、ウォーキングなどの有酸素運動を、一回三十分以上、週に三回以上行うと効果的です。

なるべく階段を使うなど、日常生活の中で、積極的に体を動かすことも大切です。

また、糖尿病は初期の段階では、ほとんど自覚症状がないため、一年に一回は健診を受けましょう。糖尿病を放置すると、糖尿病性腎症などの合併症を引き起こします。健診の結果、糖尿病が疑われる場合には、早めに受診し、治療を受けることが大切です。

知って得する！ 川エコの知恵⑩

「エコチャレンジ」の巻

市では、環境に配慮した取り組みを、エコチャレンジ事業として認定しています。市民の皆さんには、節電の効果がすぐに実感できる測定器を無料で貸し出し、それを使って家族で楽しく省エネに取り組める、「エコチャレンジファミリー」があります。これは、家1軒分の電力量をチェックする「省エネナビコース」、電気製品ごとの電力量をチェックする「簡易電力計コース」、家庭の光熱費・水道代などをチェックする「省エネ家計簿コース」に分かれています。平成15年度から同19年度までに、市内277家族がエコチャレンジファミリーとして認定されています。

学校では、次世代を担う子どもたちに環境への関心を持ってもらうため、児童・生徒・教職員が目標を立て、環境活動に取り組む「エコチャレンジスクール」があります。これは、市独自で認定する学校版ISOとも呼ばれています。現在、市立学校57校すべてが参加し、各校で環境に配慮した取り組みを実施しています。

また、市内のイベントでは、環境に与える影響を主催者と参加者が協力して減らし、環境に配慮した催しを「エコチャレンジイベント」として認定しています。昨年度は、小江戸川越花火大会・川越まつり・川越産業博覧会など、21のイベントが認定されました。

市では、このような事業を通して、市民の皆さんと行政が一体となり、地球温暖化防止に取り組んでいます。皆さんも、エコチャレンジに参加してみませんか。問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

消費生活 レポート

164

身に覚えのない支払いを要求された……

事例

「民事訴訟裁判通知」と書かれたハガキが届いた。文面に、まったく身に覚えのない支払いを要求することばがあり、内容もよくわからない。しかし、「契約不履行」「裁判」「差し押さえ」「強制執行」などと書かれているので恐ろしくなった。どうしたらよいか。

利用した覚えがない架空の料金などを要求する、悪質な手口です。ハガキ以外に、電子メール・封書・電報などで届くこともあります。「入金がない場合には、自宅・勤務先へ回収に向く」など、不安を感じることは書かれていることもあります。

消費者へのアドバイス

- ① 利用した覚えがなければ、金銭を支払わないでください
- ② ハガキに書いてある連絡先に、直接連絡しないでください。ことば巧みに、新たな個人情報聞き出されてしまう危険性があります
- ③ 要求された内容に、不安を持った場合は、まず生活情報センターに相談しましょう

消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月二十五日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター（アトレ六階）

TEL226-7066

(相談専用・TEL226-7476)

Report